

【実証実験のご案内】

タクシー車両を使用した高精度三次元地図作成の実証実験を行っています。

タクシー車両を用いた三次元地図データ収集

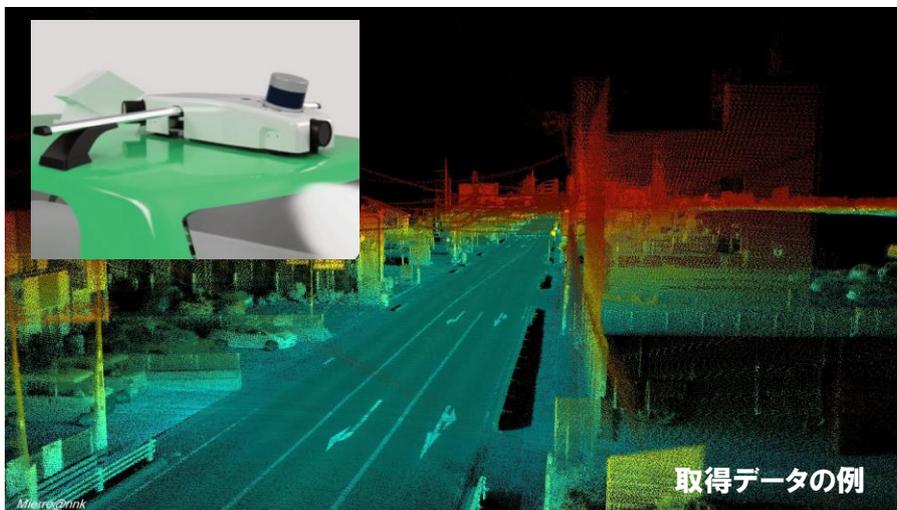


MMS N-QUICK 走るだけで3D

■本プロジェクトは、2020年度「新あいち創造研究開発補助金」採択の事業です。
 事業用車両を活用して作成した高精度三次元地図データの自動運転への活用に向けた実証事業

【内容】

タクシーの屋根に取り付けたレーザ機械及びカメラで、公道の点群データ及び映像を取得します。取得したデータを解析することで公道の地図を作成します。
 タクシーがお客様を探す間の移動時間や、お客様を目的地へお送りする時間を利用して、公道の地図データを収集するのが、このプロジェクトの目的になります。



【実験を行う上での配慮】

- タクシーの運行を妨げません。遠回りや無理な運転はせず、通常と同じ運行を行います。
- 取得したデータは三次元地図を作成する目的以外に使用しません。
- 個人を特定する情報やプライバシー情報を取得することを目的としません。
- カメラで撮影した映像を外部へ提供することはありません。

実証期間：2020年10~12月（予定） / 当車両の取得データ管理：中日本航空株式会社
 共同企業：株式会社マップフォー、名古屋鉄道株式会社、株式会社メイテツコム、
 名鉄タクシーホールディングス株式会社、中日本航空株式会社